

ランサムウェアに注意！

～パソコンやデータを使用不能にし、身代金を要求～



和歌山県警察マスコット
きしゅう君

ランサムウェアによる被害が増加

企業等に対して身代金を要求するコンピュータウイルス「ランサムウェア」の被害が続いています。過去には県内でも感染が確認されました。

ランサムウェアの特徴として、**感染したパソコンをロックしたり、データを暗号化することによって使用不能にし、元に戻すことを引き換えに、暗号資産などで対価（身代金）を要求してきます。**

また最近ではデータの暗号化だけでなく、**事前にデータを盗み出し、対価を支払わなければ、データを公開するといった二重恐喝を行う**という事例も確認されています。

しかも対価を支払っても、元に戻るとは限りません。

ランサムウェアはどうやって感染する？

- ① メールに添付されたファイルを開封する
- ② メールに記載されたリンクURLをクリックする
- ③ 改ざんされたウェブサイトを閲覧する

等があります。

また企業等のネットワークへ密かに侵入して感染させられる場合もあります。



実際のランサムウェア感染時の画面例

対策

- OS、セキュリティソフトやメールソフトは**常に最新の状態**にする。
- 身に覚えのないメールの**添付ファイルやリンクURLは開かない**。
- 重要なデータは**定期的にバックアップ**を別にとっておく。

バックアップデータはネットワークと切り離されたところへ保存する。

また、改ざんされた悪意あるウェブサイトへアクセスしないために、セキュリティソフトのアクセスブロック機能等を活用しましょう。



実際に感染した場合や感染が疑われる場合は、**お近くの警察署又はサイバー犯罪対策課にご相談ください。**